

個人投資家さま向け 会社説明会



かがやく“笑顔”のために

森永乳業株式会社

2019年2月22日

(証券コード：2264)

<http://www.morinagamilk.co.jp/ir/>

【本日のご説明内容】

1. 森永乳業グループの概要
2. 中期経営計画
3. 業績概況
4. CSRの取り組み
5. 株主還元

1. 森永乳業グループの概要

グループ事業構成



国際事業



健康・栄養事業



BtoB事業



シールド乳酸菌®



企業概要



会社名 森永乳業株式会社 (MORINAGA MILK INDUSTRY CO., LTD.)

本社所在地 東京都港区芝五丁目33番1号

代表者 代表取締役社長 宮原 道夫

代表取締役副社長 野口 純一

創業 1917年 (大正 6年) 9月 1日

設立 1949年 (昭和24年) 4月13日

資本金 21,704百万円

従業員数 連結 5,987名 <男子4,659名、女子1,328名>

単体 3,144名 <男子2,556名、女子 588名>

事業内容 牛乳、乳製品、アイスクリーム、飲料その他の食品などの製造、販売

グループ会社 連結子会社32社 他持分法適用会社2社

上場証券取引所 東証一部 (証券コード：2264)

(2018年3月31日現在)



国内事業所 (2018年3月31日現在)

- 本社
- 支社・支店・商品センター・管理センター
- 工場・市乳センター・装置開発センター
- ▲ 研究・情報センター



海外現地法人・合併会社（2018年3月31日現在）

● MILEI GmbH

1972年ドイツに設立
ホエイ蛋白濃縮物、乳糖、ラクトフェリンなどを
製造、販売

● Morinaga Milk Industry (Shanghai) Co.,Ltd.

● Morinaga Nutritional Foods (Asia Pacific) Pte., Ltd.

1985年ロサンゼルスに設立
長期保存可能な「TOFU」を全米で販売

● PT.Kalbe Morinaga Indonesia

2005年インドネシアに設立
インドネシア最大の製薬メーカーであるカルベ社との合併に
よる、育児用ミルクの製造会社

創業からの100年 (第95期中間報告書より)



森永乳業—100年の歩み

みなさまに支えられた100年間

1917年に日本煉乳株式会社として創業した当社は、おかげさまで100周年を迎えました。お客さま、株主さまをはじめとするみなさまのご支援のおかげで、ここまで成長することができました。そして新たな100年に向けて、これからもみなさまに愛される商品を提供し、笑顔あふれる豊かな社会の実現を目指すことで、企業価値向上に取り組んでまいります。



コーポレートスローガン・経営理念



コーポレートスローガン

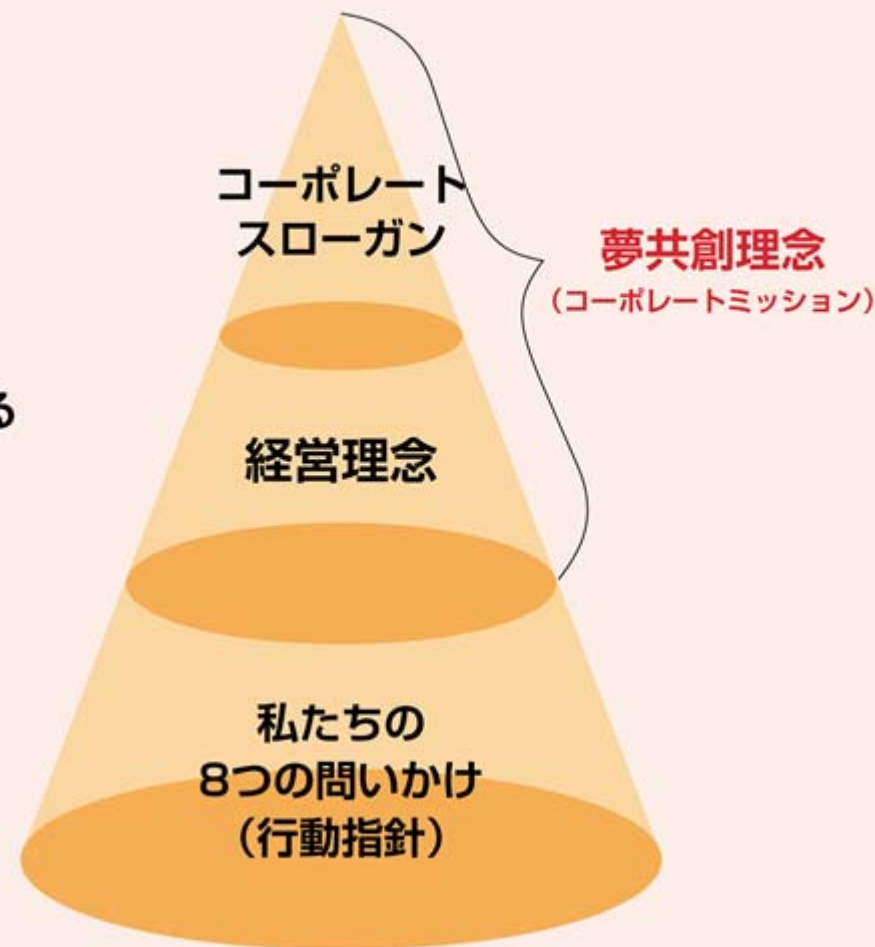
かがやく“笑顔”のために

経営理念

乳で培った技術を活かし
私たちならではの商品をお届けすることで
健康で幸せな生活に貢献し豊かな社会をつくる

私たちの8つの問いかけ(行動指針)

1. お客さまに寄り添い 感動を共有できていますか
2. 感謝の気持ちを持っていますか 伝えていますか
3. 全ての品質に自信が持てますか
4. 本物の安全・安心を追い続けていますか
5. 常に挑戦し続けていますか
6. 「チーム森永」の輪 築いていますか
7. 今 自分も仲間も生き生きしていますか
8. 夢を語り合い 未来へ一歩踏み出していますか



機能性・食品素材事業（B to B 事業）



ラクトフェリン粉末



シールド乳酸菌®粉末

国際事業



健康・栄養事業



B to C 事業 (自社ブランド商品)



B to C 事業 (自社ブランド商品)



B to C 事業 (自社ブランド商品)



B to C 事業 (自社ブランド商品)



B to C 事業（提携ブランド商品）



クラフトフーズは北米最大級の食品企業
1970年にチーズおよびチーズ関連商品で
技術提携し、クラフトブランドで提供
しています



リプトンは世界最大級の食品・日用品メーカー、
ユニリーバの主力紅茶ブランド
100年以上の歴史を持ち、世界中で愛飲され
ています
1984年にライセンス契約を結び、リプトンブランド
でチルド紅茶飲料を販売しています



米国のサンキストといえば、フルーツの代名詞
1971年にライセンス契約を結び、サンキストブランド
で果汁飲料を販売しています



主力カテゴリーの国内シェア



チルドカップ
タイプコーヒー
1位 44%



チルド紅茶
1位 67%



チーズ
3位 12%



ヨーグルト
3位 10%



チルドデザート
1位 19%

アイスクリーム
4位 12%



家庭用商品の金額シェア

出所：インテージSRI（2017年4月～2018年3月、販売金額シェア）

独自の技術・素材（主な基礎研究）



乳の優れた力を探り、最大限に活用します

ビフィズス菌

- ・独自の高い技術力により菌末の製品応用を実現、世界が注目する菌末に

ラクチュロース

- ・困難の末、粉末化に成功、さまざまな用途が期待されるオリゴ糖

ラクトフェリン

- ・同粉末を配合した世界初の育児用ミルクを製造、さまざまな商品へ配合可能

シールド乳酸菌®

- ・少量でも効果が期待でき、風味影響が少ないため、加工食品への応用が拡大

アロエステロール®

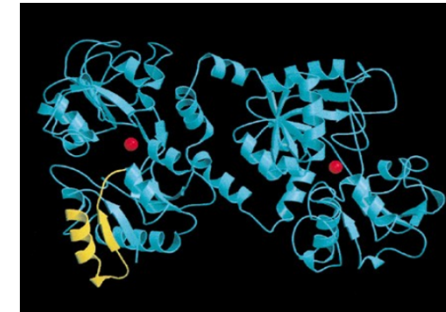
- ・希少な機能性食品成分で、国内で10以上の用途特許を取得

オーラバリア®

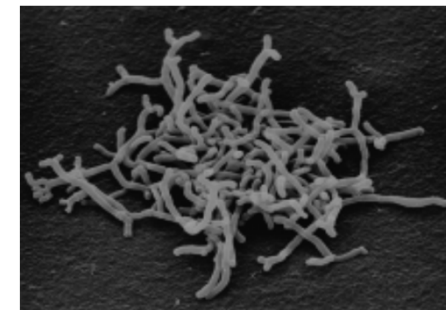
- ・安全性が高く、抗菌成分を持った当社独自の機能性素材

ペプチド

- ・独自の製造技術により、ミルクアレルギー疾患用ミルクの商品化が実現



多機能たんぱく質「ラクトフェリン」



ビフィズス菌BB536

(ご参考) 乳酸菌とビフィズス菌の違い



「全てのヨーグルトにビフィズス菌が含まれているわけではありません」

1. 99.9% vs 0.1%

大腸の善玉菌である、ビフィズス菌と乳酸菌の割合は、なんと99.9%がビフィズス菌で、0.1%が乳酸菌です。

2. ビフィズス菌 → 「乳酸」+「酢酸」

乳酸菌が「乳酸」をつくりだすのに対し、ビフィズス菌は「乳酸」に加え「酢酸」もつくりだします。この「酢酸」が非常に重要で、より強い殺菌作用があります。

3. ビフィズス菌は年齢とともに減少

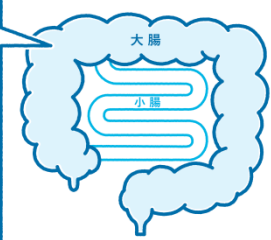
ビフィズス菌は、健康な赤ちゃんの腸内フローラの大半を占めています。しかし年齢とともに腸内のビフィズス菌は減少していき、中高年～老年期にかけてさらに減少。そして代わりに、健康に悪影響を及ぼすさまざまな悪玉菌が増えてしまいます。

多くの不調の原因は、 実は「大腸」から来ている!?

便秘、肥満、アレルギーや生活習慣病などの多くの健康トラブルが、実は「大腸」の不調から来ていることが、長年の研究でわかってきました。大腸は不要な排泄物をつくる重要な器官ですが、老廃物がたまりやすく、炎症をおこすとカラダ全体の不調につながります。今、注目されている「腸内フローラ」も、腸の中でも多くの悪玉菌がすんでいる「大腸」が主な舞台。そのため、大腸において腸内フローラを良好に保つことがカラダ全体を良好に保つための鍵なのです。

大腸にいる善玉菌の主役はビフィズス菌

名称	ビフィズス菌	乳酸菌
大腸内での菌数	1兆個～10兆個	1億個～1,000億個
大腸での ビフィズス菌と 乳酸菌の割合*	99.9%	0.1%
つくりだすもの	乳酸+酢酸	乳酸



当社機能性素材広告より

2. 中期経営計画

現中期経営計画（4つの基本方針と事業の柱）



4つの基本方針

1 成長に向けた
事業ドメインの再構築

2 資産効率の改善
および合理化の推進

3 経営基盤の強化

4 社会への貢献

4つの事業の柱

1) 機能性・食品素材事業の強化
(BtoB事業)

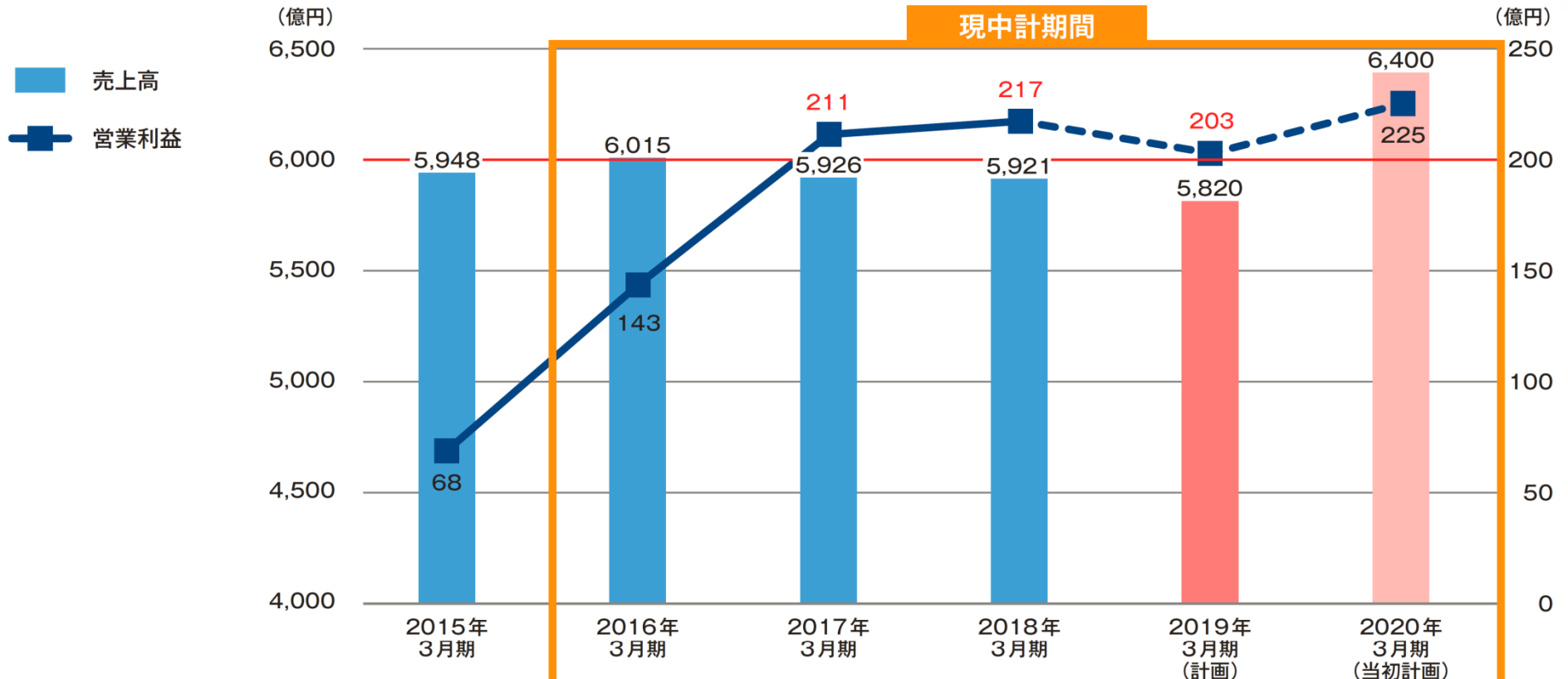
2) グローバル化の推進
(国際事業)

将来に向けた事業の4本の柱

3) 健康・栄養事業の育成

4) 既存事業の収益性の改善
(BtoC事業)

現中期経営計画 (進捗状況・振り返り)



	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期 (計画)	20年3月期 (当初目標)
ROS (営業利益/売上高)	1.1%	2.4%	3.6%	3.7%	3.5%	3.5%
ROE (当期純利益/自己資本)	3.4%	8.4%	9.8%	10.5%	7.5%	8.0%
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	-91億円	60億円	161億円	82億円	-	中計5年間で 300億円超

当社グループの中長期の方向性



かがやく“笑顔”のために

経営理念： 乳で培った技術を活かし
私たちならではの商品をお届けすることで
健康で幸せな生活に貢献し豊かな社会をつくる

既存商品

部門横断の取り組み
当社独自シーズの最大有効活用

健康栄養機能性を基軸
とした新規商品

B to C 事業

B to B 事業

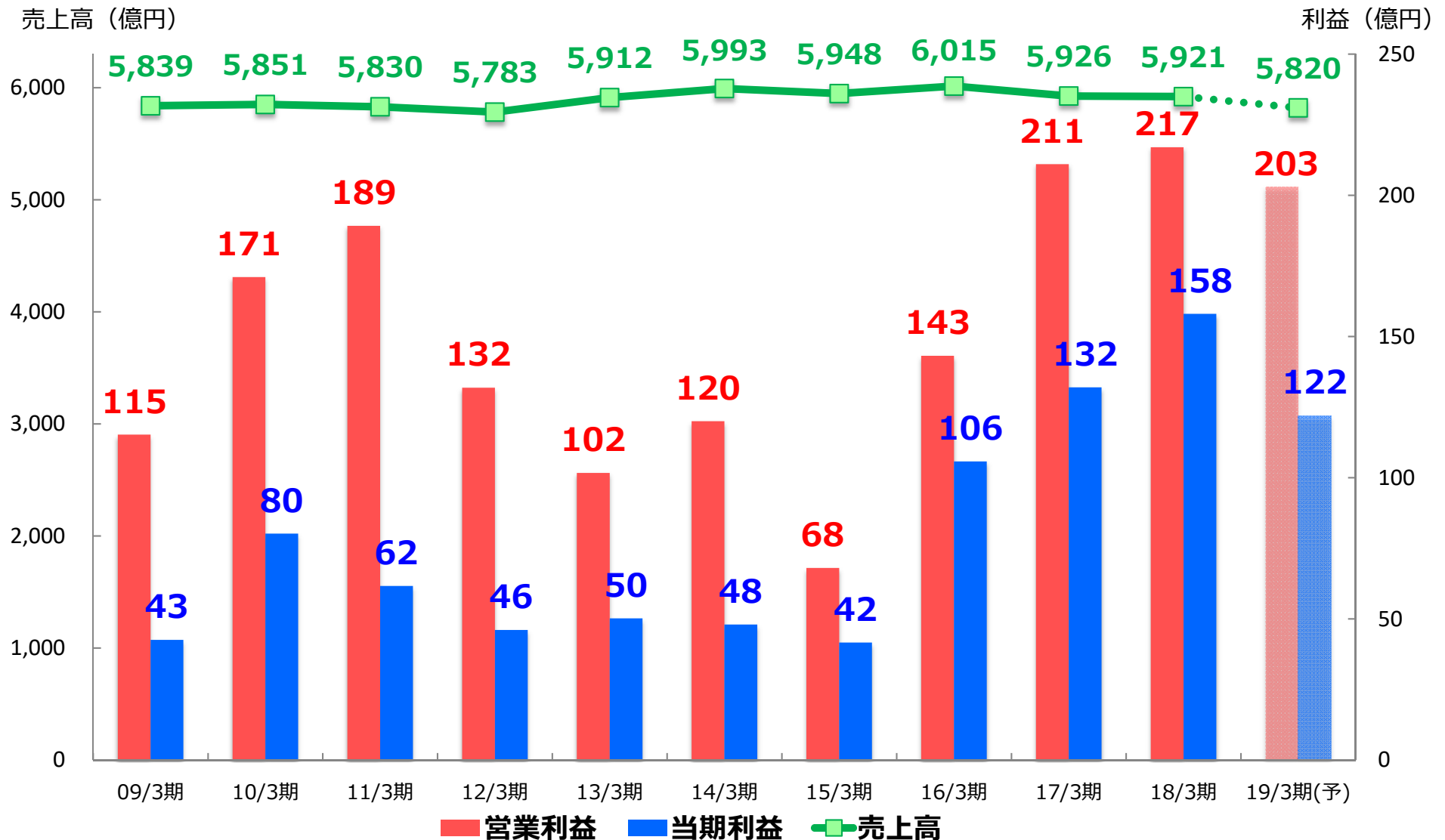
ウェルネス・クリニカル事業

海外事業

お客様のニーズに幅広くお応えできる「技術力・開発力」
お客様へ安全・安心を提供できる「ブランド力」

3. 業績概況

グループ業績推移



2019年3月期業績見通し



※予想修正 有

(単位：億円)

	18年3月期	19年3月期	対前年増減額	対前年増減率
売上高	5,921	5,820	△101	△1.7%
営業利益	217	203	△14	△6.4%
経常利益	224	212	△12	△5.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	158	122	△36	△22.7%
RO S (営業利益/売上高)	3.7%	3.5%		
RO A (営業利益/総資産)	5.4%	4.9%		
RO E (当期純利益/自己資本)	10.5%	7.5%		

4. CSRの取り組み

7つの重要取組課題を策定



次の100年に向けて、サステナブルな社会を作るため、 人々の健康に貢献する企業であり続けるための指針です

策定した重要取組課題への取り組みを通じ、森永乳業が企業市民として持続可能な社会の実現に貢献できると、私たちは考えています。

健康・栄養

「かがやく“笑顔”」を実現する
機能性と嗜好性を兼ね備えた
商品を開発・販売し、
健康・栄養をお届けします。

人権

人権に配慮した事業活動を行い、
多様性を尊重し、あらゆる人々が
能力を十分に発揮できる
環境をつくります。

次世代育成

サステナブルな社会づくりに
貢献する次の世代を育成し、
未来をつくります。

コーポレート・ ガバナンス

持続的な成長と企業価値の
向上の実現に向けて
実効性の高いガバナンス体制の
整備および充実に継続的に
取り組みます。

環境

省エネルギー、廃棄物削減に
取り組みながら安全・安心な
商品を製造し、サステナブルな
社会づくりに貢献します。

供給

環境・人権に配慮した
原材料を調達し、安全・安心を
重視した製造を経て、高品質な
商品をお届けします。

人財育成

「かがやく“笑顔”」を実現する
人財の育成に力を
入れていきます。

低出生体重児向けビフィズス菌M-16V提供をしています

通常、健康で生まれた赤ちゃんの腸内フローラは、90%以上がビフィズス菌です。しかし、出生時体重が1,500g未満の赤ちゃんは腸管が未発達で、ビフィズス菌の定着が遅れ、大腸菌などの悪い菌が増えると言われていています。

大学病院との共同研究を進め、独自開発の「ビフィズス菌M-16V」を投与することで、新生児に発症すると危険な壊死性腸炎や敗血症を予防できることがわかりました。森永乳業では、これからも世界中の赤ちゃんや子どもたちの健全な成長を支えていきたいと考えています。

・全国120以上の施設に提供

NICU(新生児集中治療室)
小児科など

・海外でも使用が広がる

2012年よりオーストラリアのNICU
近年はニュージーランド、シンガポールのNICUでも使用開始



社会・地域活動



社会や地域との連携を大切に考え、社会貢献活動に取り組んでいます

(活動の一例)

近畿工場／近隣小学校への出前授業



富士森永乳業／富士山ごみ減量大作戦



東京工場／工場内の緑地の開放



首都圏支社他で実施しているピンクリボン活動

(ご参考) レポート発行物のご紹介



森永乳業アニュアルレポート2018

本日
配布

株主・投資家の皆さまをはじめとするステークホルダー向けに当社の事業活動に対して理解を深めていただく目的で作成しています。財務情報を基本に事業の収益構造や市場環境、今後の成長ビジョンを解説するとともに、森永乳業グループの理念、社会的使命、ステークホルダーとの関係に関する姿勢などを掲載しています。

(URL) <http://www.morinagamilk.co.jp/ir/library/annual.html>



森永乳業サステナビリティレポート2018

持続可能な社会の実現に向けて、2017年より「CSR報告書」を「サステナビリティレポート」として発行しています。

「サステナビリティレポート2018」をお読みになったの感想や、森永乳業のCSR活動へのご意見などをお寄せください。

(URL) <http://www.morinagamilk.co.jp/csr/sr/>



5. 株主還元

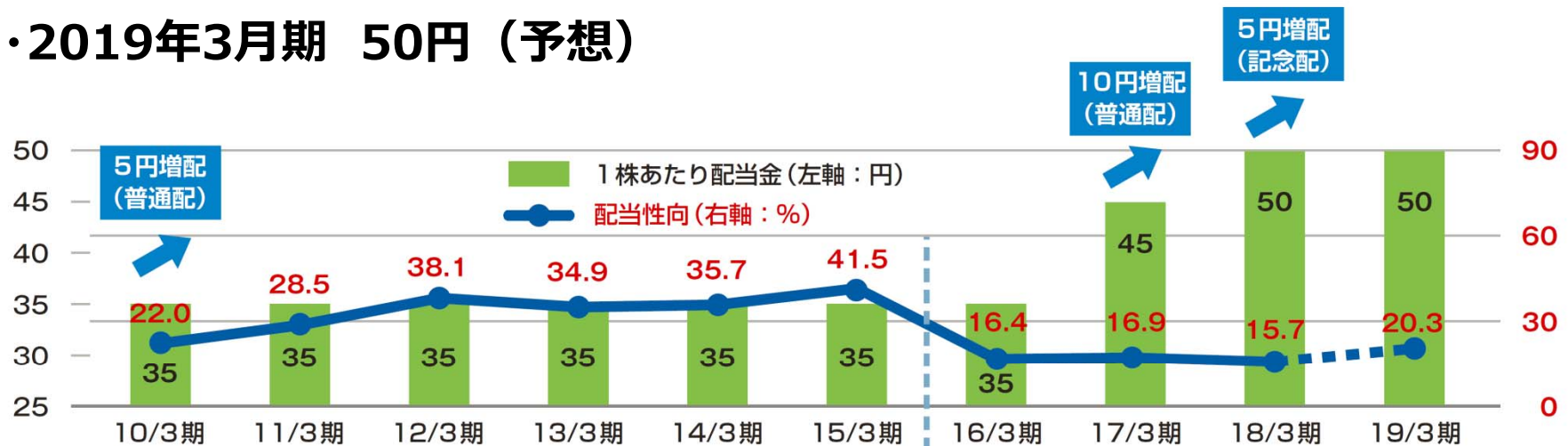
配当金・株主優待



配当金（3月末時点での株主の皆さまが対象※1）

利益の配分については、企業体質維持・強化のための内部留保を意識しながら、配当性向を勘案して安定的な配当を続けております。

・2019年3月期 50円（予想）



※2017年10月1日実施の株式併合考慮後

<大型投資へのキャッシュ需要>

2016年3月期以降、設備投資資金需要が増加
利根工場新棟への設備投資



※1 毎年3月31日現在の株主名簿に記録された株主の皆さま

配当金・株主優待



株主優待（9月末時点での株主の皆さまが対象※1）

株主の皆さまからの日頃のご支援にお応えするとともに、当社取扱い商品に対するご理解を深めていただくことを目的として、当社では株主優待制度を実施しています。

2018年度以降につきましては、これまでの内容を見直し、**100株以上ご所有の皆さまへの優待を新設**しました。また、**500株以上ご所有の皆さまには、3,000円相当の当社商品詰合せ**をお届けいたします。

ご所有株式数	優待品
New 100株以上	当社商品「森永絹ごしとうふ」6丁 (870円相当)
200株以上	当社商品「森永絹ごしとうふ」12丁 (1,740円相当)
New 500株以上	当社商品詰合せ (3,000円相当)※ ※「森永絹ごしとうふ」6丁含む



※1 毎年9月30日現在の株主名簿に記録された100株以上ご所有の株主の皆さま

※優待品のイメージ（500株以上）

(ご参考) IRサイトのご紹介



森永乳業「IR情報」ウェブサイト

森永乳業のIR情報サイト「株主・投資家の皆さまへ」では、「IRニュース」「経営情報」などさまざまな情報をタイムリーに発信しています。また、個人投資家の皆さま向けのページもご用意しておりますので、ぜひご覧ください。

(URL) <http://www.morinagamilk.co.jp/ir/>

HOME > IR情報

IR情報
株主・投資家の皆さまへ

- > IR情報TOP
- > IRニュース
- > 経営情報
- > 個人投資家の皆さまへ
- > 業績情報
- > 株式情報
- > IR資料室
- > IRカレンダー
- > よくあるご質問
- > IRIに関するお問い合わせ

100
100th anniversary

森永乳業は、創業100周年を迎えました。
次の100年も皆さまのかがやく“笑顔”のため
常に挑戦し続けることをお約束します。

株主・ステークホルダーの皆さまへ
代表取締役社長 宮原道夫
> トップメッセージ

IRニュース

- 2017年12月06日 **IR資料** 第95期 中間報告書 (3,077KB)
- 2017年12月01日 **お知らせ** 家庭用アイスクリーム一部商品 価格改定のお知らせ

1 当社のあゆみ
森永乳業が歩んできた歴史についてご説明いたします。

2 事業内容
森永乳業の事業内容についてご説明いたします。

3 当社の強み
森永乳業の強みについてご説明いたします。

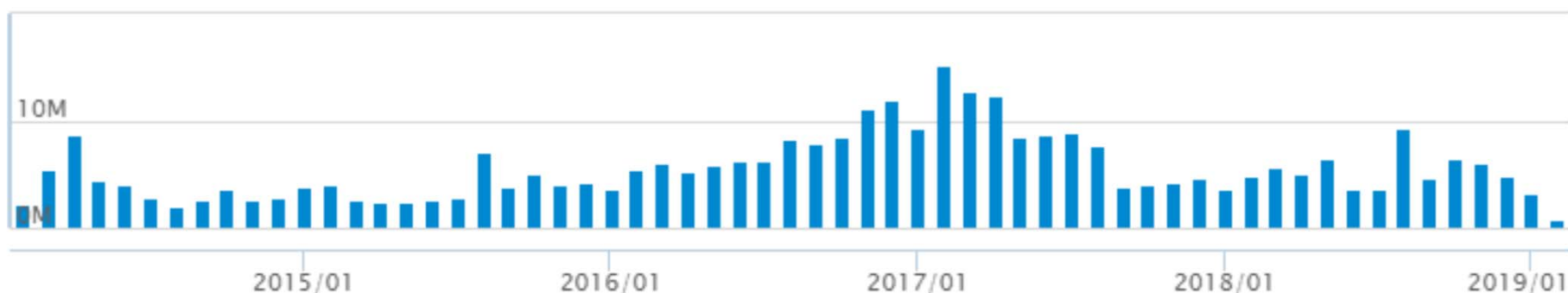
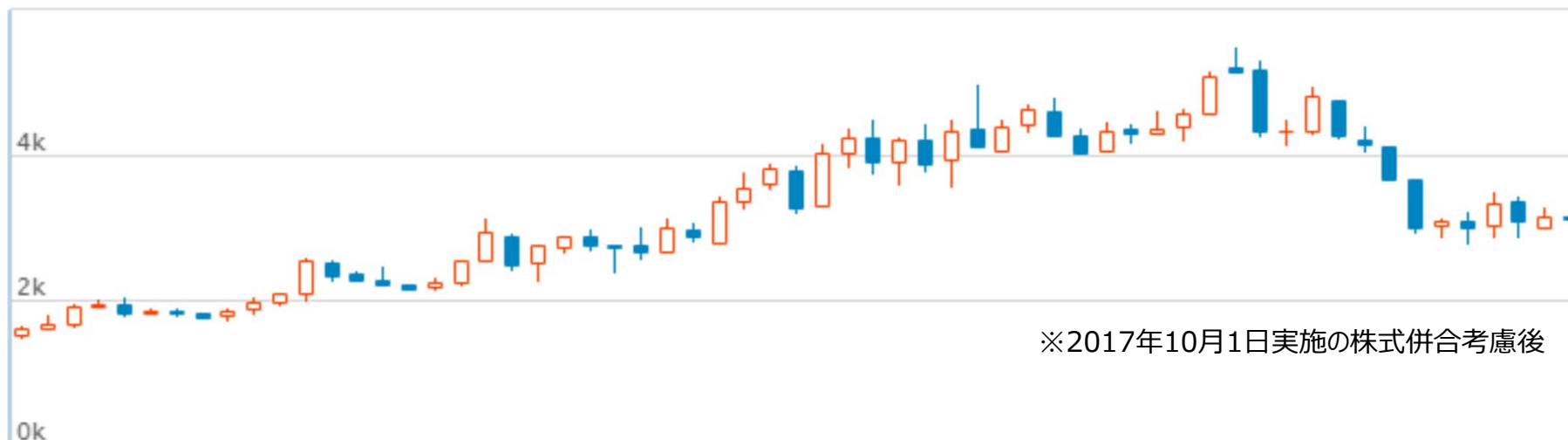
4 株主優待・配当
森永乳業の株主還元策についてご説明いたします。

個人投資家の皆さま向けのページ

(ご参考) 当社株価、出来高推移 (5年間)



(2019年2月5日現在)



森永乳業「IR情報」ウェブサイトより



かがやく“笑顔”のために

森永乳業株式会社

業績予想および将来の見通しに関する事項

当社の開示資料のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載につきましては、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎としています。従いまして、実際の業績は諸々の要因により見通しとは異なる可能性があります。また、開示資料は、あくまで当社をより深くご理解いただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。